

特集1

広島県の医療の輪をもっと大きく

診療情報の活用と地域医療対策などに取り組みます。

アンケート結果を見ると、広島県の医療体制づくりについてあまり知られていないことが分かりました。県では、県民が安心して質の高い保健医療サービスを受けられるよう、「広島県保健医療計画」を策定し、医療体制の充実に取り組んでいます。

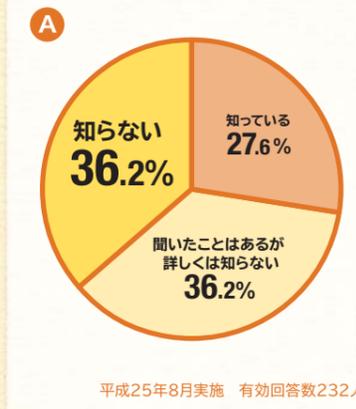
たとえば、患者の電子カルテなどの診療情報や投薬情報を、県内の医療機関で共有する「ひろしま医療情報ネットワーク(HMネット)」。これにより、病院で治療後、地元の診療所へ転院した場合の診療が円滑に行えるだけ

だけでなく、重複処方や重複検査が防止できます。患者の肉体的、精神的、経済的な負担軽減につながることも、災害時の緊急医療にも役立てることが可能です。HMネット内の情報共有・開示には患者の同意を必要とし、同意後はカードが発行されます。

また、「へき地医療対策」として医師不足の地域への診療船・診療車による医療提供を進めています。その他にも、こどもの救急電話相談など、県民がいつでもどこでも不安なく医療を受けられる広島県を目指します。

広島県民に聞きました。

Q 広島県が安心して医療を受けられる体制づくりを進めていることを知っていますか？

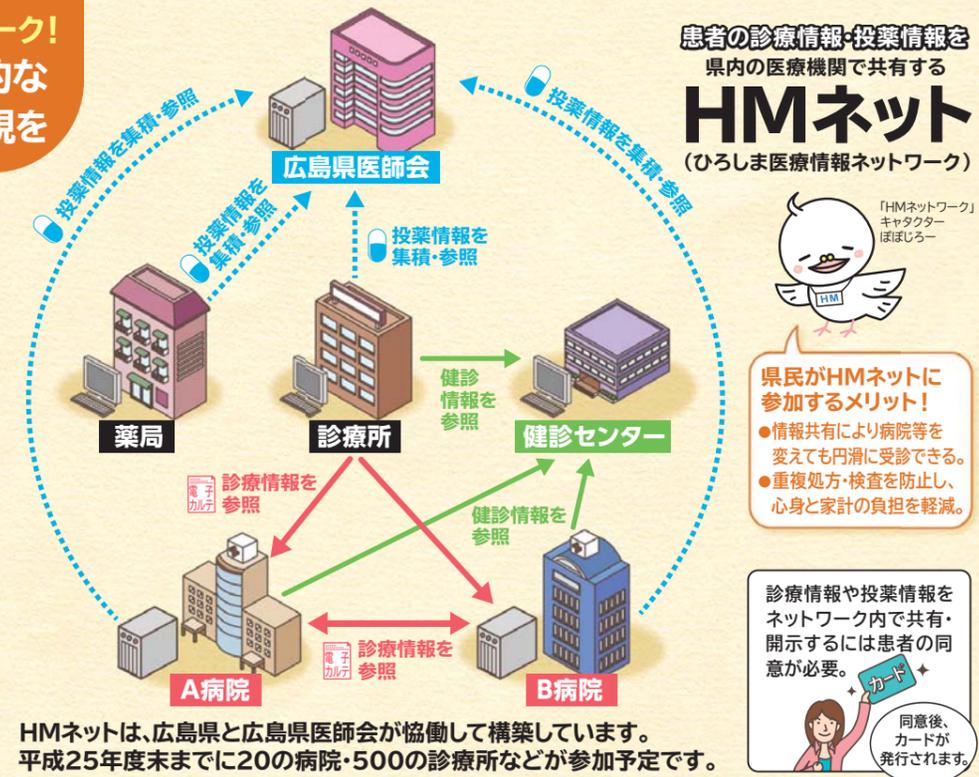


新しい安心のネットワーク！HMネットで効率的な医療サービスの実現を

患者さんの医療情報を、安全に管理し有効活用。

患者さんの同意を得て、病歴や服薬状況を活用するHMネットは有益です。多くの人に利用してもらうため、医療と介護福祉の連携による幅広い情報の共有を進めていきます。

広島県医師会 常任理事 牛尾 剛士さん



特集2

私達の大切な財産『中山間地域』

中山間地域の恵みを知り、みんなで守りましょう。

アンケート結果を見ると、中山間地域が持つ多様な機能について、県民の皆さまにはあまり知られていないことが分かりました。中山間地域とは、山間部や島しょ部などのこと。私達の暮らしを豊かにしてくれる大きな役割を担っています。

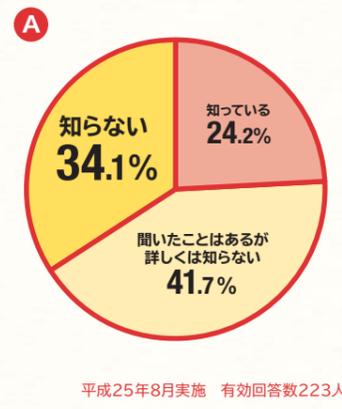
たとえば、農林水産物の生産の場として多くの食物などを生み出すのもちろんのこと、土砂崩れや洪水の防止、動植物の生態系維持、広島の誇る伝統文化の継承、癒しや安らぎを与えてくれる景観や景色など、

多面的かつ公益的な機能を有しているのです。その一方で、中山間地域では人口減少や少子高齢化が進み、農林水産業や地域コミュニティが衰退するなど、様々な課題を抱えています。そこで県では、中山間地域の価値を県民の皆さまと再確認し、将来に引き継ぐための条例づくりに着手しました。

県民一人一人が大切な財産である中山間地域について理解を深め、みんなで豊かな地域づくりに取り組んでいきたいと思います。

広島県民に聞きました。

Q 中山間地域の持つ特徴(機能)を、あなたは知っていますか？



県民の暮らしを支えている！中山間地域が持つ多面的機能



地域生活を支えながら、都市部との交流も図る。

閉鎖予定だった商店とガソリンスタンドを地域住民で再生しました。需要の調査から仕入れ・雇用、都市部との交流まで、地域住民主体の活動を続けています。

生業振興会会長 藤井 敏法さん

このように、都市部にも深く関係する中山間地域の元気を創り出す取組を広島県は進めています！

多彩な取組を通じて中山間地域の振興を目指しています！

- 生活支援モデル事業**
県では中山間地域の生活課題解決のため、自治会などの住民自治組織が行う先導的な取組を支援しています。買い物対策や高齢者への配食サービスなど、様々な取組が始まっています。
- 未来創造支援事業**
県では、過疎地域で将来的に若者が仕事を持ち定着できるよう、産業対策を中心とした市町の取組を支援。若者の就労の場として企業誘致や観光事業開発等が進められています。
- 生活交通の確保**
地域の方々の通勤や通学、通院など生活に必要な公共交通を守るため、幹線バスや離島航路・生活航路への補助、デマンド交通などを運行する市町を支援しています。

無医地区等で活躍する巡回診療サービス！

- 瀬戸内海巡回診療船「済生丸」**
国内唯一の診療船。県内の12島1沿岸地区の19か所を巡回し、昨年度は2,674人が受診されました。
- 広島県北部地域移動診療車**
中四国初の移動診療車。三次市、庄原市、神石高原町のへき地医療拠点病院により巡回診療を行っています。
- こどもの救急電話相談**
夜間のお子さまの急な病気や怪我などに対して、相談員(看護師)が受診の必要性や御家庭でできる応急処置などのアドバイスを行います。
☎#8000または☎082-505-1399
受付時間/毎日19時～翌朝8時